

2022年3月3日

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団
2022年度事業計画書

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団
理事長 小笠原 三四郎

当財団の目的達成のため、定款第4条に定める事業を下記のとおり実施する。

記

I. 科学・技術分野

1. 一般研究助成

1) 対象

高分子分野における、新素材、加工技術、新機能に関する研究課題

- ① 機能性高分子新素材の開発に関する研究
- ② 高分子の成形,切削,接着等の加工に関する研究
- ③ 高分子成形の金型に関する新技術の研究
- ④ プラスチックを利用した新機能部品の開発
- ⑤ 高分子の廃棄及びリサイクルに関する研究

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～6月30日

4) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

5) 決定時期

10月中旬、理事会で決定。

6) 予算額 12,000万円

2. インキュベンチャー助成

2015年度より新しい事業として、日本の成長戦略につながるような独創性に富んだ
公益性の高い新製品・新技術のプロジェクトを推進するための助成。

1) 対象

- (1) 社会経済の健全な発展と国民生活の向上に資すると認められる公益性の高い
優れた新製品・新技術(但し、医薬を除く)
- (2) 原則として3年最大5年以内に事業化可能なもの

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～6月30日

4) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

(第1次選考:10月7日、第2次選考(プレゼン選考):11月25日)

5) 決定時期

12月中旬、理事会で決定。

6) 予算額 12,000万円

3. 科学技術に関する国際交流活動等への助成

1) 対象

D. 海外における国際的な学会・研究集会への研究発表のための参加等

E. 国内における国際的な学会・研究集会の開催

2) 募集時期・方法

D.について 10月以降募集開始予定(コロナウイルス感染状況に応じて判断)

E.について 10月以降募集開始予定(コロナウイルス感染状況に応じて判断)

3) 選考方法

選考委員による選考。

4) 決定

理事会で決定。

5) 予算額 1,000万円(D.集会への参加等:500万円、E.集会の開催:500万円)

4. 特定課題研究助成

1) 対象等

広く自然科学、社会科学の分野における主に学術的・社会的意義の大きい調査研究、学術交流等を対象。財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行うことを目的とした助成。

2) 募集、選考方法

随時案件受入、選考委員による選考。

3) 決定

理事会で決定。

4) 予算額 5,000万円

II. 文化・芸術分野

1. 第3次新型コロナウイルス特別助成(現代美術分野)

1) 目的

まだ収束の見えない新型コロナウイルス感染拡大で、ウィズコロナ・ポストコロナ時代での現代美術分野における新たな形態の活動やプロジェクトに対して、また将来にわたって活動を継続するための支援を行うことで、今後の時代に対応した新しい形態の創造・表現活動に取り組める環境整備に貢献することを目指します。

2) 対象

現代美術分野における活動をされている方

新型コロナウイルス感染拡大の中で、活動に何らかの影響を受けた個人、または小規模団体。団体の法人格は問わない。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月以降募集開始予定(コロナウイルス感染状況に応じて判断)

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定。

7) 予算額 4,500万円

2. 文化・芸術の担い手への助成(調査・研究等への助成)

1) 助成の目的

日本の現代美術の分野における「調査・研究」、「教育・普及」、「保存・修復・維持」等美術の担い手に対して助成し、現代美術の文化・芸術の発展・普及を図ることを目的とする。

2) 対象

- (1) 現代美術分野に関する調査・研究を行う個人、または研究グループ
また現代美術の創作活動を行う個人
- (2) 日本の現代美術に関する調査・研究活動
 - ① 現代美術史、現代美術作品の保存・修復・アーカイブ
 - ② 現代美術を通じた教育・普及、現代美術の展示技術
 - ③ アート・マネージメント、アーティストの環境改善など
- (3) アーティストによる創作活動に係る調査・研究活動

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月8日～10月20日

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定。

7) 予算額 5,000万円

3. 日本の文化・芸術普及のための翻訳助成

1) 助成の目的

現代美術に関する資料、アーティストファイル等の良質な英語翻訳を支援し、日本の現代美術の現状と多様性を広く海外へ紹介・周知することを目的とする。

2) 対象

現代美術分野で活動する非営利団体。(法人格は問いません)

日本の現代美術に関する日本語のテキストから英語への翻訳費用

- ① アーティストファイルやステートメントなど、アーティスト資料の翻訳に係る費用
- ② 作品に付随する字幕・解説(キャプション)の翻訳に係る費用
- ③ オンライン媒体も含まれます。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

- 4) 募集期間
9月8日～10月20日
- 5) 選考方法
選考委員による選考委員会にて行う。
- 6) 決定
理事会で決定。
- 7) 予算額 1,000万円

4. 特定課題研究助成

- 1) 対象等
文化・芸術の分野を対象とし、財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行う助成。
- 2) 募集、選考方法
随時案件受入、選考委員による選考
- 3) 決定
理事会で決定
- 4) 予算額 500万円

5. 交流助成

- 1) 助成の目的
美術の分野における文化・芸術の担い手相互の交流活動を応援し、もって文化・芸術の振興を図ることを目的とする。
- 2) 対象
3年以上、文化・芸術分野等において専門的な職務に従事している者または同様の専門性が あると認められる者(申請書から判断)。個人でも応募可。
・会議開催費用の一部支援助成 国内における会議の開催費用の一部を支援する。
開催費用には旅費を含む。
- 3) 募集方法
当財団のホームページに募集要項掲載
- 4) 募集期間
前期: 2022年4月18日～7月17日まで、随時募集
後期: 2022年9月18日～2022年12月11日まで 随時募集
- 5) 選考方法
選考委員による選考(絶対評価方式)
- 6) 決定
理事会で決定
- 7) 予算額 500万円
前期: 250万円、後期: 250万円 それぞれ予算額になり次第募集終了

6. 渡航・旅費等の助成

- 1) 助成の目的

美術の分野における文化・芸術の担い手が国内外の研究会に参加し、あるいは
 展覧会業務等のために必要な渡航旅費、滞在費等を応援し、もって文化・芸術の振興を
 図ることを目的とします。

2) 対象

3年以上、文化・芸術分野等において専門的な職務に従事している者または同様の
 専門性が あると認められる者(申請書から判断)。個人でも応募は可。

- ① 会議(研究会、ワークショップなど)へ参加するための渡航旅費、滞在費等
- ② 美術品の移動や展覧会業務又はそれに準じる業務に必要な学芸員等の渡航費、
 滞在費等

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

前期:2022年4月18日～7月17日まで、随時募集

後期:2022年9月18日～2022年12月11日まで 随時募集

5) 選考方法

選考委員による選考(絶対評価方式)

6) 決定

理事会で決定

7) 予算額 1,500万円

前期:750万円、後期:750万円 それぞれ予算額になり次第募集終了

Ⅲ. 目的達成のための関連業務(事業推進業務)

助成申請の内容を選考委員が選考するための業務 予算額 1,380万円

【事業費まとめ】

(単位:万円)

科学 技術	1. 一般研究助成	12,000
	2. インキュベンチャー助成	12,000
	3. 国際交流助成	1,000
	4. 特定課題研究助成	5,000
	小 計	30,000
文化 ・ 芸術	1. 第3次新型コロナウイルス特別助成	4,500
	2. 学芸員等担い手への助成(調査・研究等への助成)	5,000
	3. 日本の文化・芸術普及のための翻訳助成	1,000
	4. 特定課題研究助成	500
	5. 交流助成	500
	6. 旅費、渡航費助成	1,500
	小 計	13,000
事業推進費		1,380
合 計		44,380

以上